

【資料9】参考補修(補強)設計数量

神戸大学(六甲台2)総合研究棟(農学系)改修施設整備等事業

クラック処理方法は、自動式低圧エポキシ樹脂注入工法とする。

- 1) ひび割れに沿って幅50mm程度の汚れを除去し、清掃を行う。
- 2) 注入間隔は、200～300mm間隔とする。
- 3) ひび割れに沿って仮止めシーリング材をへら等によりシーリングを行う。
- 4) エポキシ樹脂を注入器具にて、注入圧0.4N/mm²以下で注入を行う。
- 5) エポキシ樹脂硬化後仮止めシーリング材を撤去、清掃を行う。

外壁等露筋鉄筋の改修仕様

- 1) コンクリートの浮き、剥落箇所、脆弱箇所を除去を行う。
- 2) 露筋鉄筋部を、ワイヤーブラシなどで錆をケレン除去を行う。
- 3) コンクリート面にプライマー塗布を行う。
- 4) 露筋鉄筋部を防錆処理を行う。
- 5) ポリマーセメントモルタルにて充填し金ごてにて平滑に仕上げる。

モルタル浮き部の改修仕様

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法にて施工を行う。(アンカーピン本数は、16本/m²)

外壁クラック補修参考数量

棟名称	クラック（m）						露筋補修(W100程度）（m）		モルタル浮部 補修（㎡）
	0.3mm以下		0.4mm以上0.5以下		0.6mm以上1.0mm以下		壁	柱	
	内部	外部	内部	外部	内部	外部			
A棟	15	35	20	50	40	90	80	20	10
B棟	5	15	30	60	20	60	20	10	5
C棟	5	15	10	20	5	17	10	0	0
D棟	15	35	30	70	40	100	60	19	20
E棟	20	40	35	85	50	120	100	30	20
小計	60	140	125	285	155	387			
合計	200		410		542		270	79	55